

高砂小だより

た …… 他を思いやる子
 か …… 体をきたえ、安全に過ごせる子
 す …… 進んで学び、深く考える子
 な …… 仲良く、最後までがんばる子
 【育成する子どもの目標】
 「豊かな心」 ～ 輝ける子ども ～

「2020年(令和2年)度 学校評価アンケート」について

学校評価についてご回答いただき、ありがとうございました。本校では、学校の様々な教育活動について、学校側の評価だけでなく、保護者や地域の方々からのご意見をいただくことを基本姿勢としております。お寄せいただいた回答を集計し、その結果やご意見につきましては、今後各種会議の資料とするとともに、今後の学校運営に生かしていきます。

なお、今年度は、コロナ禍において児童の地域行事への参加や保護者の皆様の学校行事への参加等について、地域行事の中止や学校経営における目的達成のための授業参観や運動会等の公開ができなかったため、質問項目からは省かせていただいております。

1. 集計・分析について

○回答対象者：本校教職員、5年生児童、1～6年生各学年1クラス(無作為抽出クラス)

○回答率：教職員は全員
 児童・保護者(実施クラス在籍児童170世帯)は、ほぼ対象者全員より回答

○分析数値について ※①から③の数値を算出し分析の根拠とした。

①達成指数：(最高値10、最低値0)とする指数を算出

(例) C【学習全般への取組】「3. 学校での勉強はよくわかります」(2020年度児童)

1. そう思う	2. ほぼそう思う	3. あまり思わない	4. 思わない	5. どちらともいえない・よくわからない	回答児童人数合計
48人 5ポイント	32人 3ポイント	1人 -3ポイント	0人 -5ポイント	1人 0ポイント	82人

選択項目「5. どちらともいえない」を除いた各選択項目のポイント合計の平均を比較数値とし、その項目の達成指数とした。

$$(48 \times 5 + 32 \times 3 + 1 \times (-3) + 0 \times (-5)) \div (82 - 1) = 4.11$$

児童が「学校での勉強はよくわかります」の仮達成指数は 4.11

仮達成指数は-5以上5以下の数値のため、-5を0軸とするために換算

達成指数 = 仮達成指数 + 5 = 4.11 + 5 と換算し、 **達成指数は 9.11**

②対象別達成率：達成指数を100%に換算 $(4.11 + 5) \div 10 \times 100 = 91.1$ **91.1%**

③学校達成率：児童・保護者・教職員の各対象別達成率の平均
 $(児童91.1 + 保護者82.7 + 教職員74.8) \div 3 = 82.86$ **82.9%**

【数値項目からの考察】

仮に、全員が「1. そう思う」を選択すると → 達成指数 10、学校達成率 100%

全員が「2. ほぼそう思う」を選択すると → 達成指数 8、学校達成率 80%

全員が「3. あまり思わない」を選択すると → 達成指数 2、学校達成率 20%

全員が「4. 思わない」を選択すると → 達成指数 0、学校達成率 0%

となるため、判断の一つの基準として、達成指数が7以下・学校達成率が70%以下の場合に、課題傾向にあると考え、改善に向けた検討をしました。

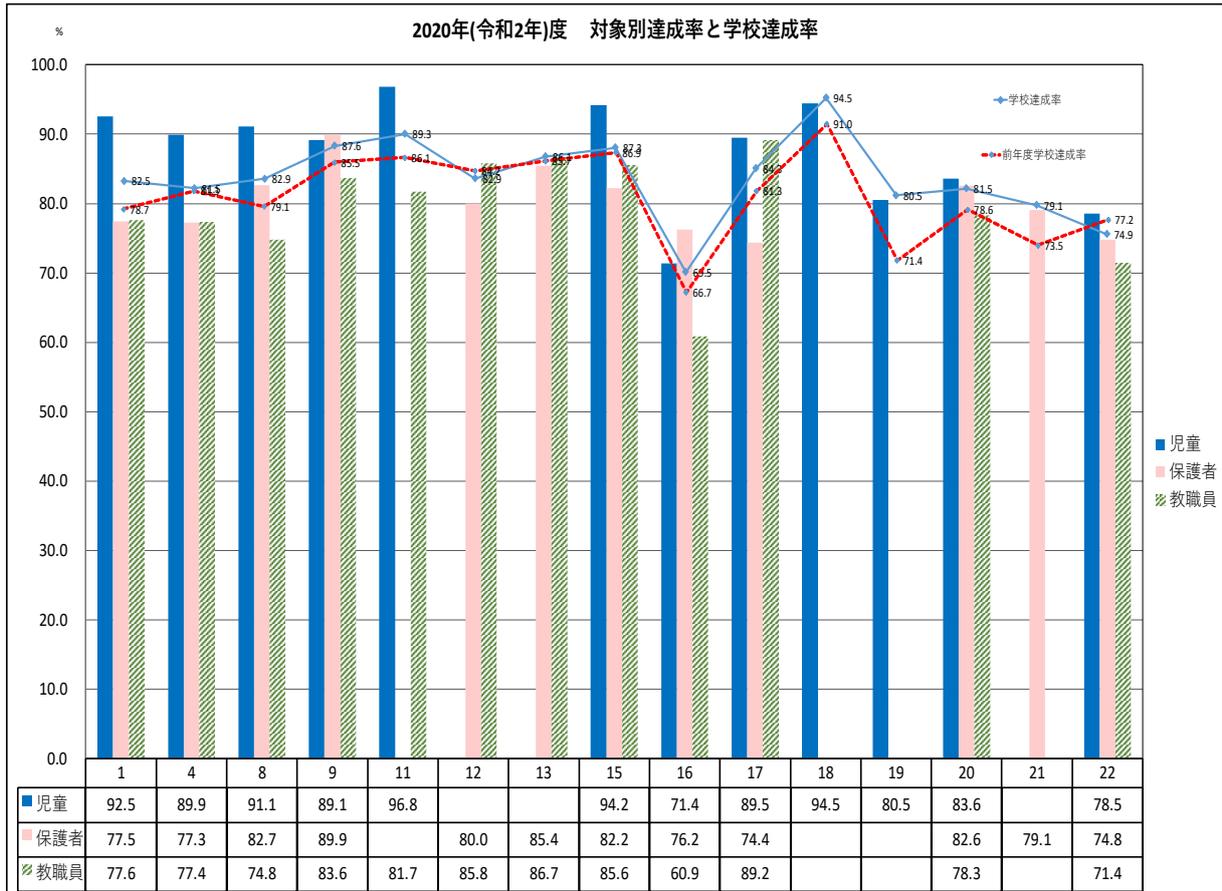
【資料について】

・総合資料：対象別達成率と学校達成率の一覧グラフ

※今年度の分析は、総合資料を中心にすすめ、その傾向について考察を行いました。

また、前年度との比較ができるよう、前年度の学校達成率を加えました。

2020年(令和2年)度 学校評価アンケート 集計結果 <総合資料>



A[学校教育目標・方針・教育課程]	B[学習指導・授業改善]	C[学習全般への取組]	D[支援教育]	E[教職員の姿]	F[基本的な生活習慣]	G[児童理解・支援・未然防止(いじめ等)]	H[安全教育・安全管理・保健指導]	I[教育環境整備]	J[開かれた学校づくり・情報提供]
-------------------	--------------	-------------	---------	----------	-------------	-----------------------	-------------------	-----------	-------------------

項目	児童	保護者	教職員
1	学校の目標やよきまりを知っています。	学校は、教育目標や方針をわかりやすく伝えていく。	学校教育目標は、児童生徒の実態や保護者や地域の願いを踏まえた目標になっている。
4	学校の行事は楽しいです。	学校は、子どもの実態や保護者、地域を踏まえた学校づくりを行っている。	児童の実態や保護者・地域の願いを踏まえ、特色ある教育課程の編成をし、教育活動を行っている。
8	学校での勉強はよく分かります。	学校は、楽しくわかりやすい授業をめざし、努めている。	学校は、指導方法を工夫し、授業改善に取り組んでいる。
9	学校に行くのは楽しいです。	子どもたちは、楽しく学校へ行っている。	本校児童は、楽しく学校生活を過ごしている。
11	委員会や係の仕事ががんばっています。		児童会活動・委員会活動・児童の自主的活動の活性化に努めている。
12		教育活動に努めている。	児童一人ひとりを大切にした教育活動を進めている。
13		保護者の相談に応じてくれる。	外部相談機関との連携をとり、教育相談の充実を図っている。
15	先生たちは、私たちの意見を聞いてくれます。	学校は、子どもたちの考えや意見を聞いてくれる。	迅速に対応している。
16	先生や友だちやおはようボランティアの方などに、自分からあいさつをしています。	子どもたちは、気持ちよいあいさつができています。	本校児童は、教職員や友だち、保護者や地域の方々に自分から気持ちよく挨拶ができるよう努めている。
17	こままとときに相談できる友だちがいます。	学校は、いじめ防止に取り組んでいる。	学校は、いじめの早期発見や再発防止の取り組みに努めている。
18	休み時間は楽しいです。		
19	給食を好き嫌いなく食べています。		
20	心がけて過ごしやすい学校になるよう心がけています。	学校は、子どもや事故防止について取り組んでいる。	学校は、児童の安全確保のため、安全指導・施設点検などに努めている。
21		学校の施設や設備は、よく整っている。	
22	家族に、学校の様子をよく話しています。	学校は、保護者や地域へ学校の様子をよく伝えていく。	学校は、保護者や地域に学校の情報を発信したり、説明の場を設けたりしている。
23	地域の行事(児童館・公民館・お祭りなど)に参加しています。	保護者は、学校行事や学級活動に参加している。	学校以外の教育力を取り入れたり、校外での体験活動を行うたりしている。

2. 評価結果の分析（成果と課題）について

(1) 【「今後の課題」と判断できること】

児童の評価結果 <<「今後の課題」と判断できる項目>>

- No.16「先生や友だちやおはようボランティアの方などに、自分からあいさつをしています。」 71.4%
- No.22「家族に、学校のようにすをよく話しています。」 78.5%

保護者の評価結果 <<「今後の課題」と判断できる項目>>

- No.17「学校は、いじめ防止に取り組んでいる。」 74.4%
- No.22「学校は、保護者や地域への学校の様子をよく教えている。」 74.8%
- No.16「子どもたちは、気持ちよいあいさつができています。」 76.2%

教職員の評価結果 <<「今後の課題」と判断できる項目>>

- No.16「本校児童は、教職員や友だち、保護者、地域の方々に自分から気持ちのよい挨拶ができています。」 60.9%

* 基本的な生活習慣について

あいさつは、他者との関わりを通してお互いが良好で気持ちよい関係を育てて行くためのきっかけではないかと考えます。児童は71.4%の意識はありますので、地域や保護者の皆様にも子どもたちへの温かな声かけを継続していただき、本校の育成する子どもの目標「豊かな心」～輝ける子ども～の達成に向けた教育活動をこれからもしていきます。

今年度はコロナ禍のため9月から始まった委員会活動においても「笑顔あふれるスカイ高砂」の目標を立て、1年生から6年生の全校児童が目標達成のためにそれぞれの学年で具体的な取り組みを行いました。6年生は「あいさつ」を自分からしようと校門や校舎内の色々な場所であいさつ運動を頑張っていました。

(2) 【「評価が高い」・「成果がある」と判断できること】

「児童と教職員がともに評価が高い」と判断できる項目

- No.17 児童「こまったときに相談できる友だちがいます。」 89.5%
教職員「学校は、いじめの早期発見や再発防止の取り組みに努めている。」 89.2%
- No.15 児童「先生たちは、私たちの意見や考えを聞いてくれます。」 94.2%
教職員「生活指導上の問題の早期発見に努め、迅速に対応している。」 85.6%
- No. 9 児童「学校に行くのは楽しいです。」 89.1%
教職員「本校児童は、楽しく学校生活を過ごしている。」 83.6%

* 児童理解・支援・未然防止（いじめ等）について

児童理解・支援については、年3回児童理解全体会を実施し、全職員が協力して支援にあたること、保護者の意見に謙虚に耳を傾けながら信頼・協力関係の確立に努めること、「いじめ」等の人権にかかわる問題については、毅然とした態度で指導・支援にあたることなどを確認しています。いじめ防止に関しては、「いじめ防止対策推進法」制定を受け、本校でも「いじめ防止対策基本方針」の策定を行い、「すべての児童がいじめを行わず、ほかの児童に対して行われるいじめを認識しながら放置することが無いよう、いじめが心身に及ぼす影響その他いじめの問題に関する児童の理解を深めることを旨として、いじめ防止等のための対策を行う」とする基本姿勢で教育活動の実践をしています。そして、いじめはどのクラスにも起こりえるものという認識に立ち、「いじめをしない、させない、許さない、見逃さない」環境づくりに努めています。

本校では、日々の学校生活における担任の児童観察や年3回実施する「学校生活アンケート」、（家庭訪問：今年度はコロナ禍のため実施できず）、保護者からの相談等により、いじめの「早期発見」「早期対応」にむけて取り組んできています。さらに、児童支援担当教諭を中心とした組織的な支援やスクールカウンセラーとの連携等を通じて、子どもたちの現状を把握しながら、

きめ細かな支援に努めています。

また、児童の豊かな情操と道徳心を培い、心の通うコミュニケーション能力の素地を養うため、すべての教育活動を通じた道徳教育および体験活動等の充実を図るとともに、児童が自主的に行う交流活動（たてわり活動・集会活動）を支援し、よりよい人間関係を構築し健やかな成長を促す体制に努めています。

今年度は、コロナ禍のため、1年生から6年生で構成された縦割り班での活動は行いませんでしたが、2つの学年間で行うクラスごとの交流を実施しました。

いじめ防止においては、何よりも「未然防止」が重要であるととらえ、家庭や地域、関係機関との連携を大切にされた対策を行っていきます。

今後とも、生徒が充実感や達成感を味わえる学校づくり、心の通う人と人との関係づくり、地域で子供を見守る体制づくりなどの取り組みを進めていきたいと思っておりますので、ご理解・ご協力をお願いします。

「児童と保護者がともに評価が高い」と判断できる項目

- No. 9 児童「学校に行くのは楽しいです。」 89.1%
保護者「子どもたちは、楽しく学校へ行っている。」 89.9%
- No.15 児童「先生たちは、私たちの意見や考えを聞いてくれます。」 94.2%
保護者「学校は、子どもたちの考えや意見を聞いてくれる。」 82.2%
- No. 8 児童「学校での勉強はよく分かります。」 91.1%
保護者「学校は、楽しく分かりやすい授業をめざし、努めている。」 82.7%

*『楽しく分かりやすい授業』をめざして

2020年度より新学習指導要領が全面実施となりました。今までの学習指導要領では、「教師が何を教えるか」という観点で組み立てられていましたが、今回の改訂では、「何を学ぶか」「どのように学ぶか」そして、その学びによって「何ができるようになるのか」という子どもの側の視点が加えられています。知識を学ぶだけでなく、その知識を生かして物事を解決する力を身につけていくこととなります。そのため、学習指導と学習評価のPDCAサイクル（P指導計画、D授業、C評価、A改善）が重視され、教育活動を組織として改善することが求められています。

今年度は、校内研究において「主体的に学習に取り組む態度」の育成を踏まえたその見取り方について研究を進めました。7月には藤沢市教育委員会より指導主事を招いて、新学習指導要領の考え方からの授業展開、評価についての研修を行いました。また、低・中・高学年の3つの部会に分かれ、研究授業にむけた指導案検討を重ね、12月には公開授業と授業検討会を行いました。来年度以降についても、子どもたちの学びを評価し、授業改善を重ねて行きながら、評価・評定の研究を深めて参ります。

【参考】

子どもたちの学習状況を評価するために、教員は、個々の授業のねらいをどこまでどのように達成したかだけでなく、子どもたち一人一人が、前の学びからどのように成長しているか、より深い学びに向かっているかどうかを捉えていくことが必要である。

（中教審答申H28.12.21）

児童の評価結果 <<「成果がある」と判断できる項目>>

- No.11「委員会や係の仕事をがんばっています。」 96.8%
- No.15「先生たちは、私たちの意見や考えを聞いてくれます。」 94.2%
- No.18「休み時間は楽しいです。」 94.5%

保護者の評価結果 <<「成果がある」と判断できる項目>>

- No. 9「子どもたちは、楽しく学校へ行っている。」 89.9%

(3) **新分析**：学校達成率の前年度比による今年度の達成状況について

前年度と比較して「評価が高い」・「成果がある」と判断できる項目

- ・No.19「給食を好き嫌いなく食べています。」 9.1ポイントアップ 80.5%←71.4%
- ・No. 5「各種の年間指導計画に基づき、教育活動が行われている。」 6.4ポイントアップ 84.8%←78.3%

*『豊かな心～輝ける子ども～』をめざして

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、例年、全校で実施していた運動会等の学校行事は行うことができませんでした。規模を縮小したり実施内容を精選しながら、子どもたち一人ひとりの意欲を育てながら、限られた取組の中をして参りました。

学校での教育活動の意義について教職員一同あらためて考え、子どもたちも人と関わりながら成長する喜びを感じたことと思います。

学校経営方針の柱として『愛情をもって子どもたちに接するチーム学校』、育成する子どもの目標として『豊かな心～輝ける子ども～』を掲げて、日々、高砂小学校での教育活動を行っています。学校便り『高砂だより』では、委員会活動や各学年の行事等、他の学年の保護者の皆様にも高砂小学校の子どもたちの活動をご理解いただけるよう、ご紹介しています。

学校は、子どもたち一人ひとりが集団の中で学びあい、支え合い、ともに成長していくために教職員が一丸となって教育にあたる場であると考えます。

「児童・教師がともに学び続ける学校」「子どもが通いたい、保護者が通わせたい学校」「地域が誇れる学校」をめざす学校の姿として、保護者や地域に支えていただきながら、日々の教育活動を行いたいと考えます。

3. 今年度の教育活動における学校運営の現状

【1】おもな教育活動

(1) 外部講師の活用

- 1年：交通安全教室
- 2年：「なるほど！体験出前講座」～ブンブン回しの作り方～
- 3年：
- 4年：パッカー車（環境センター）
- 5年：
- 6年：FLTによる外国語学習（ハロウィン文化について）FLT配置が1～5年のため
全学年ほか：国際理解教室（1～4年）

(2) 校外学習（社会見学、体験活動等）

- 1年：校内探検
- 2年：学区めぐり、図書館見学（辻堂図書館）
- 3年：市内めぐり（片瀬漁港・少年の森・わいわい市）
- 4年：プラネタリウム見学
- 5年：日帰り八ヶ岳野外体験教室、辻堂海浜公園（環境学習）
- 6年：

(3) 遠足

- 1年：辻堂海浜公園
- 2年：新江ノ島水族館
- 3年：※校外学習を遠足的行事と兼ねる
- 4年：あいかわ公園
- 5年：
- 6年：八景島シーパラダイス（日光修学旅行代替）

(4) 『豊かな心』～輝ける子ども～ の育成をめざして

- ・たてわり活動、集会、ゲームなどで上級生と下級生との関わりを大切にする。
- ・たかすな魅力アップ・デイ（高砂フェスティバル）
- ・委員会活動や代表委員会などでの児童への支援

【2】学校重点目標達成にむけての取組

(1) 校内研究・研修による授業力の向上

①教職員間の連携 ～学年意識の向上と指導体制の充実～

行事に向けての意識づけや授業への取組において、オープンスペースにすぐに集まり学年職員が分担して児童に指導を行うことによって指導の効率化を図るとともに、児童一人ひとりが学年全体で共に学ぶ意識を高める指導体制の充実をめざした。

②新学習指導要領全面实施における校内研究の実施

今年度は、校内研究において「主体的に学習に取り組む態度」の育成を踏まえたその見取り方について研究を進めました。7月には藤沢市教育委員会より指導主事を招いて、新学習指導要領の考え方からの授業展開、評価についての研修を行いました。

また、低・中・高学年の3つの部会に分かれ、研究授業にむけた指導案検討を重ね、12月には公開授業と授業検討会を行いました。

(2) 保護者や地域との連携 ～開かれた学校づくりの推進～

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一斉休校が3月から始まり、学校再開は6月でした。分散登校から始まり感染創拡大防止対策を行いながらの1年間でした。例年通り、保護者の皆様に来校いただき、本校の教育活動をご理解いただくことはなかなかできませんでしたが、感染対策にご協力いただき感謝いたします。

①学校からの情報発信 …… 学校だより・学年だより・学級だより・学校ホームページ

②来校の機会を設ける …… 4月懇談会（学年一クラスずつ実施：3日間計画）

6年生夏のお楽しみ「納涼会」9/11

11月授業参観(学年体育授業参観（運動会代替）)

~~2月授業参観 懇談会(学年一クラスずつ実施：3日間計画)~~

③地域との連携協力 …… 外部人材の活用（体験学習等）

④PTAとの連携 ……

1) PTAサークル活動への児童・教職員の参加

○ベルマーク運動・テトラパック回収：ヤドカリさん

(3) 校内支援体制の充実

児童支援担当教諭が学級担任との連携により配慮が必要な児童を把握し、学年全体へのフィードバックを意識した助言を重ねることで、時には他学級の担任が一時的にTT支援に加わる等、オープンな教室環境を活用し、学年全体で配慮が必要な児童への積極的な支援を行うことができた。

①登校渋りの児童への温かな声かけ

②いじめの未然防止（早期発見・早期対応）

③心のケア・教育相談

※スクールカウンセラー 毎週水曜日・隔週金曜日勤務（今年度より週1.5日配置）

(4) 学校安全の充実

- ①防災対策
 - ・地震・津波を想定した避難訓練（7/6～7/10の期間で学年ごとに実施）
 - ・火災を想定した避難訓練（9/3・9/4 1・4・6年と2・3・5年で実施）
 - ・災害発生時における引き渡し訓練（11/9 1年生のみ実施）
 - ・防災週間（1/25～2/5）で予告なしの訓練（1/27 予告あり 2/1 予告なし）
※緊急事態宣言のため指導のみ
- ②防犯対策
 - ・不審者対応の教職員防犯訓練（8/20） ※今年度は教職員のみ
- ③交通安全教室
 - ・歩行指導（1年）
- ④教職員による地区パトロール
 - ・8月、1月の2回（下校指導も含む）
 - ・家庭訪問（今年度は教材配付）時の学区確認のみ
- (⑤PTA地域委員によるパトロール
 - ・居住地区内の見守りとパトロール

【3】その他の教育環境等の充実

(1) 教育環境・教育活動の充実

- ①コンピュータ利用
 - ・全児童に一人1台のタブレット端末

4. 学校関係者評価委員会の主なご意見

○子どもたちの項目で「学校に行くのが楽しい」と「相談できる友だちがいます」が同じように高い評価となっていることは、子どもたちが安心して生活していると感じ、うれしく思いました。学校だけでなく、家庭環境も安定していることの表れであると思いました。

○学習について、子どもたちは「学校での勉強はよく分かります」と満足していても、先生方は、まだまだもう少し改善ができるのではないかと感じている様子が見うけられ、もっと良くしたいという思いを感じました。今年度はコロナ禍で過ごした学校生活ですが、学校へ行くことを強く楽しいと感じていることから、自分たちにとっての学校の存在を改めて感じたのではと思います。

○保護者としては、学校との連携は薄かったと感じました。来校する機会も少なく学校の大変さも実感できず、協力したいと思っても何を求められているのかわかりませんでした。子どもたちはマスク姿で新クラスを迎え、最初は友だちもできにくかったようですが、今は「新しい生活様式」にも慣れてきたようです。

○来年度もマスクでの生活や班ごとではなく一人ずつ前を向いて食べる給食等、また行事もなかなかできない状況になるのではないかと感じますが、そんな中でも子どもたちには、貴重な子ども時代を楽しくのびのびと過ごしてもらいたいと願っています。

○学校行事も先生方の工夫と子どもたちの前向きな気持ちで、コロナ禍だからこそ経験できたこともたくさんあったと思います。学年体育授業参観（運動会的行事）では、子どもたちの明るさ、のびのびした姿、熱心に取り組んでいる姿を観ることができました。6年生を応援する全校の子どもたちの拍手に感動しました。

○社会的にいじめ問題が絶えないことを感じます。日常の学校生活の様々な場面において、いじめは相手を傷つけるいけないことであることを毅然とした態度で指導をお願いします。

○今後、行事や学校内の様々なことについて、コロナ禍前の形式や方法に戻すこと的前提ではなく、それぞれ精査し、新しい形・やり方に変えていくことも考えるべきではないかと思いました。

○高砂小学校前交差点が「歩車分離」の交差点になったことは記憶に新しいです。登下校時に子どもたちは歩道橋を利用して安全に気をつけて生活していますが、家に戻った後の自転車の乗り方の様子を見ると、心配に思ってしまう。各家庭においても日頃より交通安全のルールについて話題にし、保護者の方は子どもたちのお手本になる気持ちをお願いしたいと思います。

5. 次年度の重点課題

- (1) 全面実施となった新学習指導要領のもと、指導と評価の一体化に取り組み、校内研究・研修等を通して教員の指導力向上に努め、指導法の工夫改善を図る。
- (2) 「新しい生活様式」に対応した教育活動の構築に努め、状況に応じた実践を行う。
 - ①授業・学校行事、たてわり活動等を通して異年齢集団での交流を深め、より良い人間関係の育成に努める。
 - ②児童の安全確保のために校内安全組織を充実させ、災害対策も含めた学校事故防止に努める。
 - ③学校からの情報発信に努め、学校・家庭・地域の連携強化にむけた場の設定の工夫に努める。

6. おわりに

1月に緊急事態宣言が再度発出され、その延長もあり、例年行っている第3回学校評議員会と学校評価のための学校関係者評価委員会を書面開催で実施し、この結果を報告いたしました。

全体を通して、おおむね肯定的な評価をいただきましたが、まだまだ不十分であるという評価項目も見受けられます。また評価方法等へのご意見もいただきました。検証を重ね、来年度の学校運営における課題を解決できるよう努めて参ります。